

学校だより ~11月特別号~

URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/daigonishi-s/>
E-Mail daigonishi-s@edu.city.kyoto.jp

〒601-1378 京都市伏見区醍醐川久保町1 TEL571-0221 fax571-4629

令和5年 11月 8日
京都市立醍醐西小学校
校長 森川 浩孝



令和5年度 第1回学校評価について

保護者の皆様にはお忙しい中、7月に実施いたしました「学校評価」のアンケートにご協力いただきありがとうございました。また、児童には日頃の学習や学校生活の様子についてふり返り、自己評価を実施いたしました。保護者の皆様からいただきました学校評価と児童の自己評価を通して、学校の日頃の取組を見直すきっかけとともに、保護者・地域の皆様と一緒に、よりよい教育のあり方を探っていきたいと考えています。今回は、115通の回答をいただきました。



児童と保護者で同じ内容のアンケート項目<上段:児童 下段:保護者> ※左から①…そう思う ②大体そう思う ③あまり思わない ④思わない				保護者の方・地域の方へのアンケート項目			
1. 楽しく学校へ通えています。	70.5%	21.7%	6.2% 1.6%	9. 学校でほめられます。	38.8%	41.1%	13.4% 5.4%
1.お子たちは、楽しく学校へ通っていますか。	56.5%	36.5%	7.0% 0.0%	10.おうちでほめられます。	50.4%	29.5%	13.2% 7.0%
2.自分からあいさつしています。	38.8%	37.2%	18.6% 5.4%	9.ご家庭で、お子たちをほめていただいているですか。	38.3%	41.7%	20.0% 1.0%
2.お子たちは、自分からあいさつをしていますか。	25.2%	47.0%	26.1% 1.7%	11.学校の勉強はわかりやすく楽しいです。	54.3%	31.8%	10.1% 3.9%
3.正しいことばづかいで話しています。	38.8%	35.7%	16.3% 9.3%	10.お子たちは、学校の勉強が分かりやすく楽しそうですか。	27.0%	53.9%	16.5% 2.6%
3.お子たちは、正しい言葉づかいで話していますか。	16.5%	41.7%	35.7% 6.1%	12.おうちを学習しやすいように整理整頓しています。	38.8%	31.0%	18.6% 1.6%
4.友だちと仲よくすごしています。	74.4%	18.6%	6.2% 0.8%	13.ご家庭の学習環境は整っていると思いますか。	19.1%	51.3%	27.8% 1.7%
4.お子たちは、友だちと仲よくすごしていますか。	48.7%	45.2%	4.3% 1.7%	13.「早ね・早起き・朝ごはん」ができています。	42.6%	28.7%	18.6% 1.0%
5.学校でのできごとを自分から家人に話しています。	47.3%	26.4%	9.3% 17.1%	14.お子たちは、「早寝・早起き・朝ごはん」など、基本的な生活習慣が身についていますか。	28.7%	41.7%	24.3% 5.2%
5.お子たちは、学校での様子を家で伝えていますか。	39.1%	40.0%	18.3% 2.6%	14.ゲームやスマートフォン・インターネット・SNSなどを使う時間やルールを守っています。	20.9%	33.9%	32.2% 13.0%
6.学校やクラスの約束を守っています。	47.3%	37.2%	13.2% 2.3%	15.お子たちは、ゲームやスマートフォン・インターネット・SNSなどを使う時間やルールが守られていますか。	51.9%	24.8%	9.3% 4.0%
6.お子たちは、学校や学級の約束を守っていますか。	27.8%	55.7%	14.8% 1.7%	15.行事や部活動をがんばっています。	81.4%	15.5%	1.6% 1.6%
7.こまつことをそだんできる人がいます。	62.0%	19.4%	10.9% 7.8%	16.学校の行事や部活動は、子どもたちにとって有意義なものになっていますか。	52.2%	43.5%	4.3% 0.0%
7.お子たちは、困ったことを相談できる相手がいますか。	47.8%	44.3%	7.0% 0.9%	16.いじめや仲間はずれをしていません。	72.9%	18.6%	3.9% 4.7%
8.将来の夢をもっています。	78.3%	8.5%	7.0% 6.2%	18.いじめや仲間はずれのない学校づくりができますか。	20.0%	67.0%	10.4% 2.6%
8.お子たちは、将来の夢をもっていますか。	47.0%	39.1%	13.0% 0.9%				

第1回学校評価(7月)の分析・考察

今年度の結果からも、残念ながらメディアの使用について大きな課題が見られました。この分析については、後日「メディコン通信」等でお伝えします。

今年度の分析は、昨年度4月に実施しました学校評価アンケートと比較し、昨年度より「そう思う」「大体そう思う」にお答えいただいたものが多い順に、ランキング形式でお知らせします。

【児童編】**No.1**



前年比 +18% ↑

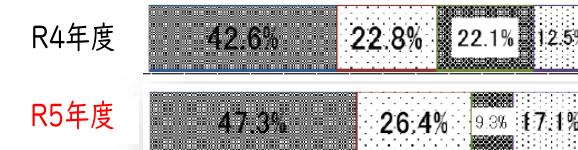
13. 「早ね・早起き・朝ごはん」ができています。

新型コロナウィルスの影響で不規則になりがちだった生活リズムが、今年度に入って改善されている傾向にあるようです。早ね・早起きは、体内時計を調整するのに役立ちます。体内時計が正確に調整されると、健康を保つことができます。また、朝ごはんを食べることは、代謝を活性化するのに役立ちます。朝食を食べることで、体は一日中エネルギーを効率的に使うことができます。同時に、授業や活動での集中力を高めるのに役立ちます。しっかりと朝ごはんを食べることで、脳に必要な栄養を提供し、学習がより集中できるようになります。

この生活習慣を続けることは、健康的な食習慣を育てる第一歩です。朝に栄養を摂取する習慣を身に付けることは、将来の健康に良い影響を与えます。

No.2

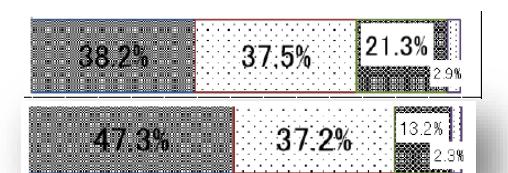
5.学校でのできごとを自分から家の人へ話しています。



前年比 +12% ↑

No.3

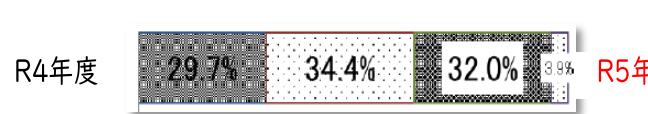
6.学校やクラスの約束を守っています。



前年比 +11% ↑

【保護者編】**No.1**

14.お子たちは「早寝・早起き・朝ごはん」など、基本的な生活習慣が身についていますか。

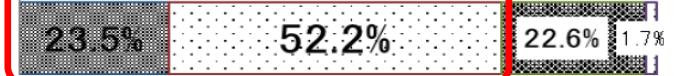


前年比 +9% ↑

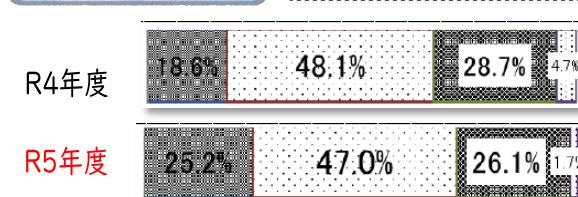
児童アンケートと同様、【早ね・早起き・朝ごはん】について、保護者の皆さんの意識も高くなっているようです。特に、朝ごはんを摂る習慣は、将来の健康につながります。子どもたちが健康的な食習慣を身に付けるためには、朝ごはんが欠かせません。子どもたちは成長期にあり、骨や筋肉、体の発育に必要な栄養をしっかり摂ることが非常に重要です。

ここで、今年度新たに追加したアンケートにふれたいと思います。設問15『夕食は、「主食・主菜・副菜」がそろっていますか。』で<(大体)そう思う>との回答が75.7%でした。ほとんどのご家庭で、日々の食生活について、子どもの健康と栄養に留意されていることがわかりました。

醍醐西小学校でも、本校在籍の栄養教諭が『食の大切さ』について、一年間に数回程度、子どもの成長過程や実態に合わせて全学年授業を行っています。子どもの健康的な成長のために、学校とご家庭が協力して今後も進めていきたいと考えています。

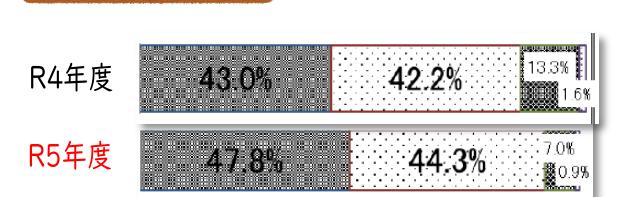


2.お子たちは、自分からあいつをしていますか。



前年比 +8.2% ↑

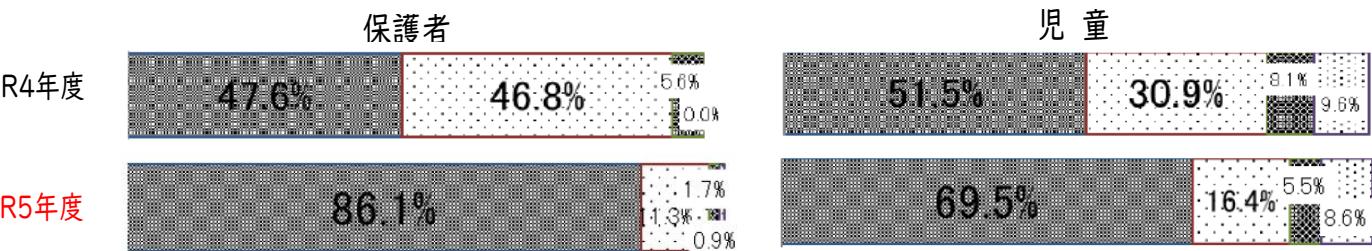
7.お子たちは、困ったことを相談できる相手がいますか。



前年比 +8.1% ↑

【読書の習慣を！】

【①0～30分未満 ②30～60分未満 ③60～90分未満 ④90分以上】



上記に示したグラフは、左が保護者への設問23、右が児童への設問18の回答です。どちらも家での読書時間の回答となっています。昨年度に比べ、家庭での読書時間が全体としてかなり短くなっていることが分かります。

なぜ読書が重要なのか？

脳科学や学力向上の観点から説明します。

- ① 脳の発達: 読書は脳の発育に寄与し、新しい知識や語彙を習得する機会を増やします。
- ② 語彙力の向上: 読書を通じて様々な単語やフレーズを学び、豊かな語彙力を養うことができます。これは、コミュニケーションスキルや表現力の向上につながります。
- ③ 論理的思考と問題解決力の向上: 物語や情報の理解を通じて、論理的思考や問題解決能力が向上します。登場人物の行動や心情の変化、ストーリーの展開を分析し、推論する訓練になります。
- ④ 集中力と注意力の向上: 読書は集中力と注意力を高めることに役立ちます。物語や情報を理解するために継続的な注意が必要であり、これは学力向上においても重要です。
- ⑤ 情報処理スキルの向上: 読書を通じて情報を取り入れ、整理し、理解するスキルが磨かれます。

読書、大好き！

読書を楽しんでほしい。醍醐西小学校の子どもたちにどんなアプローチができるのか、考えてみました。

- 一緒に読む…教員やお家の方が子どもと一緒に本を読むことは、楽しい体験を共有し、本に対する興味を高めることに役立ちます。
- 読み聞かせ…読み聞かせは子どもにとって楽しい体験であり、読書への興味を育てます。声を使って物語などを生き生きと伝えましょう。
- 読書環境の整備…静かな場所、リラックスできる椅子等、快適な読書環境を整えることで、読書が楽しい時間になります。
- 語りかける…子どもに読んだ本について質問を投げかけ、感想を共有することで、読書を深化させることができます。
- 時間を設ける…定期的に読書の時間を設け、ルーティンとして取り入れることで、読書習慣が育まれます。

その他にも、低学年は100冊、高学年は10000ページ以上の読書で、賞状がもらえる等、褒賞を提供することが、読書の達成感を高めるきっかけになるかもしれません。

読書を楽しい習慣にするためには、子どもの興味や好みを尊重しつつ、ポジティブな読書の経験を積ませていくことが大切です。醍醐西小学校は、来週から読書週間が始まります。期間中は、なんと3冊まで貸出し可能に！さらに、貸し出し冊数によって表彰のチャンスも！朝の読書タイムでは、教員による読み聞かせも予定しています。これを機に、学校でも『本』について語るよいきっかけにしていきたいと思っています。

必要なのは、「行動したくなる言葉」

80%の子どもたちがほめられているとの回答の裏では、

20%の子どもたちが、あまりほめられていないと回答。

子どもたちをほめることは、やる気を引き出すことにつながります。

ではどのような声かけの仕方があるのか、9つにまとめてみました。

- (1) 一歩先のことを伝える【例：「早く起きなさい」→「ご飯できたよ」】
- (2) 場所と時間の決定「やる気になる時間帯と場所を見つけてみない？」
- (3) 行動のきっかけを与える「まずは1つ（1分）だけやってみたらどうかな？」
- (4) 承認言葉「いい感じだね～」
- (5) 感謝の言葉「ありがとう、嬉しい、助かった！」
- (6) 伸びていることを言葉にして伝える「着実に前進しているね～」
- (7) 選択肢を与える「どちらからやる？」
- (8) やる気のきっかけを引き出す「これね、結構簡単でね…」
- (9) クイズ化する言葉「ヒントは〇〇」「制限時間30秒ね」

これらはほんの一例ですが、直接的に子どもの心に働きかける言葉としてぜひ参考にしてください。ほめてやる気を引き出す言葉は「行動させる言葉」ではなく、「行動したくなる言葉」なのです。

※参考：東洋経済on-line「やる気のない子」と、叱る前に親ができる10の事

9.ご家庭で、お子たちをほめていただいているですか。



自由記述欄にもご意見をいただきました。参考にさせていただき、個別に対応させていただきます。
貴重なご意見、ありがとうございました。